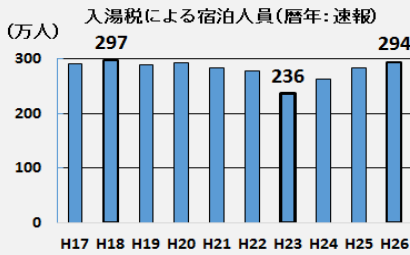




観光・商業振興を原資に、市民の暮らしを豊かに

宿泊客数



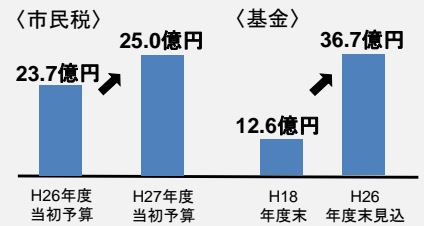
H26年は過去10年で二番目

熱海駅



- ①駅前広場:タシー乗降場の改善
- ②H27年駅施設完成、H28年駅ビル完成

財政運営



市民の皆様の暮らしを良くするための原資を確保

市民負担への配慮



- ①水道: H27年度予定の料金改定を延期
- ②国民健康保険税: H27年度は改定を見送り

(仮称)熱海フォーラム



基本性能の高いホール、図書館などを備えた「市民の集う場」づくり

立体駐車場



市役所敷地内に整備し、利便性を向上

日本でナンバー1の温泉観光地づくり

長期展望



- ①H32年東京五輪を念頭に、伊豆一丸となって、国内外のお客様を誘致。
- ②H30年JR全国キャンペーンの誘致

住まうまち熱海づくり

教育・保育の職員増員



学習支援員34名(3名増)
臨時保育士20名(2名増)

市民のための市役所づくり

エコ・プラント姫の沢



H11年移動[建設費約70億円]
大規模修繕を実施して延命化が必要

インパウンド



- ①H26年約3万人 → H29年10万人が目標
- ②wifi・情報発信など受入環境の整備

市営住宅・子育て世代入居促進モデル事業



希望に即したリフォームなどで入居を促進

上多賀拠点防災倉庫



地域の防災・集合の拠点を修繕(雨漏り等)

道路・歩道



道路維持費・改良費を増額して対応

高齢者福祉



高齢者の「まちの居場所」である総合福祉センターの温泉など老朽設備を改修

小山臨海公園テニスコート



老朽化した公共施設を市民の皆様がより利用しやすいように改修



1. 観光・商業振興、行財政改革で得られた原資を活用して、市民の暮らしを豊かにする、福祉と教育の充実した「住まうまち熱海づくり」に本格的に着手。
2. 2020年(平成32年)の東京五輪を念頭に、官民連携で、観光まちづくりやシティプロモーションを推進。
3. 市民目線で部署横断的に教育・福祉施策を推進するとともに、市民の暮らしに関わる公共的な施設を修繕・改修。

一般会計当初予算 176.7億円(対前年度7.2億円減、3.9%減) *三大建設プロジェクト実施前の水準
歳出: 普通建設事業費 15.8億円(同35.1%減)、公債費 17.2億円(同11.9%減)
歳入: 市税 97.4億円(同0.4%減)、市債14.1億円(同13.3%増)*

*将来の市債の繰上げ償還のため8年ぶりに減債積立金0.8億円を計上 *水道事業への出資金約1.2億円
市税収入(対前年): 市民税1.3億円増、固定資産税・都市計画税1.2億円減、たばこ税0.6億円減
基金残高(一般): H18末12.6億円 H25末37.3億円 H26末(補正後)36.7億円 H27末見込37.0億円

日本でナンバー1の温泉観光地づくり

展望: 国内外に熱海を発信する機会を見据えた観光まちづくり
H27年度 「伊豆は一つ」
世界ジオ加盟審査、美しい伊豆創造センター設立
H28年度 熱海・伊豆の玄関口: 熱海駅舎・駅ビルの完成
観光案内所、駅前広場、等
H30年度 JRDESTINATIONキャンペーンの誘致
H32年度 東京オリンピック、パラリンピック

(1)観光・経済

- ①雇用の安定と創出、市内の消費拡大
閑散期に団体誘客と市内飲食、芸妓等の利用促進
30,000千円(26年度補正、交付金)
別荘所有者の消費拡大(情報提供) *商工会議所と連携
旅館・ホテル等の従業員確保 *ハローワーク、旅館組合等と連携
- ②誘客の基盤整備
外国人観光誘客促進経費(多言語化など)
20,000千円(26年度補正、交付金)
総合観光ガイドブック製作 4,000千円 *地域資源の紹介
外国人受入環境整備(Wi-Fi) 3,000千円 *サンビーチ、長浜等
団体旅行特設webサイト構築 2,500千円
- ③シティプロモーションの強化
ADさん、いらっしやい! 車両購入 1,254千円
トップセールス 150千円 *旅費、ノベルティ

(2)建設、農林水産

- ①駅前広場整備(タクシー乗降場、スロープ手すり改修等) 52,600千円
- ②道路維持費・改良費(市単独) 188,000千円(対前年17,000千円増)
- ③道路(国庫) 舗装・擁壁・法面等の工事費 30,000千円 *20数路線
トンネル補修の設計 5,000千円 *野中、観魚洞、網代
- ④橋梁耐震化設計・工事 20,000千円 *重要路線20橋
定期点検4,000千円 *4年で133橋
- ⑤初島漁港交流広場実施設計 16,520千円

(3)公園等

- ①ジャカラダ遊歩道植栽管理要領作成 3,000千円
- ②公園等トイレ整備 3,000千円 *LED化して管理コストを削減
- ③伊豆山神社参道線工事費 3,500千円 *石畳階段、看板等

(4)まちづくり

- ①都市計画マスタープラン改定業務委託 7,167千円 *3か年で見直し
- ②耐震改修促進法対応 補強計画補助 12,000千円 3件

住まうまち熱海づくり

市民目線で、部署横断的に、暮らしの充実に取り組む。

(1)教育

- ①教育・保育の現場を担う職員の増員
学習支援員 34名(3名増) *特別支援教育の充実
保育士(臨時・パート) 20名(2名増) *待機児童の解消
中学校事務員 3名(1名増) *事務環境の改善
- ②子供達の学びの機会と居場所づくり、教育環境改善
公民館寺子屋 603千円(増加:南支所、冬休み)
土曜日学習支援事業 1,835千円 *学習指導、習慣づくり
エアコン(伊豆山小、桃山小、網代小) 5,138千円
プール授業等のためのバス借上料(多賀小) 1,716千円の内数
- ③熱海高校の更なる魅力向上、人材輩出
さくらの名所散策路整備 115,065千円
福祉部門との連携、地域への就職の促進、等

(2)子育て応援、児童福祉

- ①児童発達支援施設の誘致、選定 373千円 *早期開設を目指す
- ②放課後児童健全育成事業(受入日増など:3,300千円増)
- ③市営住宅・子育て世代入居促進モデル事業 6,000千円
- ④子育て支援ホームページ開設 1,458千円
- ⑤南熱海地区における遊具の設置の検討

(3)高齢者福祉

- ①福祉センター浴室(温泉)の改修 16,728千円
*年間延べ2万人利用。温泉の恩恵を広く市民に。
- ②地域包括支援センターの人員増(12名:2名増)

(4)健康づくり

- ①40~50代の特定健診未受診者への再勧奨、追加健診の実施
- ②泉地区の利便性向上(胃がん、大腸がん) *湯河原で受診可能に
- ③人間ドック受診助成の検討(国保加入者等)

(5)安全・安心

- ①災害対策本部・危機管理課移転工事 33,380千円
- ②伊豆山出張所跡地拠点防災倉庫 20,000千円
- ③熱海市ハザードマップ製作 3,327千円 *被害想定見直しに対応
- ④消防ポンプ自動車 2号車45,191千円、第三分団15,903千円

(6)文化

- ①起雲閣運営委託 *議論を深めたうえで改めて指定管理を目指す
- ②図書館100周年記念事業 3,941千円 *歴史資料の収集、整理

市民のための市役所づくり

人口減少の克服、地方創生の実現に向けた戦略策定。
公共施設マネジメントで見直し。市民サービスの向上。

(1)人口ビジョン・地方版総合戦略/総合計画後期基本計画

人口ビジョン作成に関する委託 10,800千円(26年度補正、交付金)
総合計画策定事業経費(委員報酬、印刷費等) 2,492千円

(2)市税の収納率の向上 *差押強化、適切な債権管理、等

H18決78.8% → H25決86.9% → H26決見88.7% → H27予89.3%

(3)「市民の集う場」(仮称熱海フォーラム)*H29年度中供用開始が目標

- ①立体駐車場建設 250,000千円 *庁舎敷地内に120台収容可能
- ②官民連携手法支援業務委託 24,516千円

(4)市民の暮らしに関わる施設の修繕・改修等

エコプラント姫の沢 250,000千円 : 4年で17億円程度
火葬場(1炉)21,600千円 : 年約700件利用、4年で1億円程度
上多賀拠点防災倉庫8,046千円/小山臨海公園テニスコート5,300千円
/網代公民館非常階段430千円/姫の沢公園トイレ34,033千円/第一
小スプリングラー1,762千円/中央公民館 照明・音響等1,580千円/福
祉センター6階空調2,776千円、等

(5)公共施設マネジメント

公共施設管理計画ワークショップ開催2,344千円、アンケート1,600千円
公会計制度導入に伴う固定資産台帳整備 20,000千円

(6)社会保障・税番号制度システム整備 69,432千円*10月番号通知

公営企業

- ①水道:安全対策工事費に係る一般会計からの出資金 116,700千円
水道料金の改定:会計制度の変更による影響を踏まえ
平成27年度の料金改定は延期。
県営駿豆水道に関する県と二市一町の協議の場の設置
老朽施設の改修(H27老朽管延長147km、約37%)
流量計設置(有収率71.8%)
- ②下水道:長寿命化計画に基づく浄水管理センターや管路の更新
実質資金不足額 5億4千万円(46.6%)
- ③温泉:老朽施設の改修(H27老朽管延長14km、約24%)